

ジュニア強化のいま 千葉県空手道連盟

第17回全日本少年少女
空手道選手権大会

おめでとう！

小学生 チャンピオン

ジュニア強化合宿には、指定以前の有望小学6年生もいる。今年はまだにその中に8月初めの全国大会優勝者がいた。喜びのコメントを紹介しよう。

組手の部・小学6年男子 優勝

山脇 勇希 (千葉市立生浜小)



これからも
攻める空手でいく

この大会は6年連続出場で初優勝です。関東大会は6回中4回優勝していますが全国の壁は厚かったです。だから今までのどんな優勝よりうれしいです。だから今までのどんな優勝よりうれしいです。先制されてパニックになった瞬間もあったし、決勝は幼稚園時代から40回は戦っている同じ千葉の中山碧空くん。かえって緊張したけど中段突きがハマりました。得意な技は刻み突きと裏回し。東京オリンピックは日本に勝ってほしい。自分も続く選手になりたいです。

将来の夢は
オリンピック出場

小学2年から出場していて初優勝できました。小学4、5年を連覇した人との準決勝では、「勝てたら決勝だ」と思っていました。ドキドキでした。思い切った演武して4-1。信じられないうれしさでした。空手は父と兄の影響で始めて、形の方が試合に勝てたので形を選びました。いい形が打てないとへこむけれど、諦めずに続けてきたから優勝できました。これからも、夢に向かって大好きな形の練習を続けます。

形の部・小学6年女子 優勝
古河 蒼波 (九十九里町立豊海小)

武道が好きだ！ 空手道編

町道場のいま

海神空手道サークル

空手が導いた

園子先生の40年

空手に初めて出会った町の道場。子どもたちを続けたい気持ちにさせる役割は大きい。明るいお母さんが率いる海神空手道サークルは、かつての教え子が自分の子どもを連れてくる道場だ。

ベテラン空手女子・笠原園子先生は、千葉県の女性空手家草分けの一人だ。「空手を始めたのと教え始めた年があまり変わらない」と笑う理由は、中学3年で始めた時は周りに女子は皆無で、高校生になると空手のお姉さんとして小さい子の面倒を見るようになったからだ。

「弟が強くなっていくので自分も思ったのですが、母は渋々許した感じ。先生たちも年頃の女の子の扱いに困ったのかほとんど教え込んでくれて、高校1年という異例の早さで黒帯になりました。謙遜するが、家に帰っても弟に教えるを請う努力が実っていたのだ。「これからは女の子も小さい子もやらなきゃ」という時代、園子先生の休み暇はなかった。もちろん選手としても活躍した。「でも私の頃は大学時代も女子は形しかなかった」。女子も男子と同じ種目に挑戦できる今を喜ぶ。

船橋市海神の地は、1970年の県連盟発足の20年以上前から和道流空手の道場が活動しており、創始者



の山下仁氏は県連盟の初代理事長を務めた功労者だ。本拠地は移転したが、和道流船橋の道場は市内各地に増え、発祥の地でも、と17年前に海神公民館の空手道サークルが始まった。当初から園子先生が指導する。さらに、現役選手としてマスターズ大会にも出場している。空手を続けた女性たちに、自分もチャレンジし続ける姿を見せたいし、試合で得たノウハウを伝えたいからだ。結婚も子育ても、愛する空手を辞める理由にはならなかった。



怖い、厳しいというイメージを和らげて空手キッズを増やした園子先生



町道場のいま 海神空手道サークル

親子空手で大人も成長

海神空手道サークルは未就学児から大人まで、誰でも受け入れる。武道には、礼儀作法や精神的な強さを身につけられるという人格形成へのプラスの期待もあり、わが子にすすめる親は多い。親自身が昔から空手に憧れていて、「親子で習えますか」という問い合わせをよく受けたため、親子クラスも開設した。

ママが幼児と体力維持とダイエツ



基本は楽しくやること。現在の会員数は約40人だ



武道が好きだ！ 空手道編

トを兼ねて突きや蹴り、パパが仕事後に小学生の子どもとミット打ちでストレッチ解消、といった光景はいいものだ。進学した学校に空手道部がないために通う中学生や高校生も

もちろんいる。大きくなった卒業生が時折顔を見せてくれるのもうれしい。「月曜日の講堂にみんながいる」という公民館サークルの魅力が詰まった道場だ。

洋楽のリズムによる動き作りの準備体操と俊敏性を鍛えるラダートレーニング、基本の突き蹴りを経て、形と組手を稽古する。最後の挨拶まで、礼の動作も大切にしている。



形は八方に敵がいることを想定して技を出す練習だ

試合や昇段試験にも真剣に取り組む。なんといっても子どもたちは白帯→緑帯→茶帯と級位が上がるのが励みなのだ。県の和道流大会と船橋市と白井市の市民大会の参加は必須で、隣の市の大会にも積極的に参加している。毎年10月に行われる海神公民館の「海神文化祭」



しっかり声を出しながら打ち込み練習

ふれあいまつり」で演武を披露するのも恒例だ。近くに住む名倉佐理さんは、この文化祭で子どもの頃に教わった園子先生の姿を見かけ、空手を再開した。今は小2の幼稚園児の3人の子どもたちも空手のとりこだ。「子どもの頃に茶帯でやめたので黒帯を取りたくて。年をとったのに空手では日々自分の成長を感じられます。フルタイム勤務で子育てを頑張れるのも空手のおかげ。目標はマスターズの全国大会出場です」。

息子の輝明くん(小2)とウルトラマンを見ていて空手をやりたくなったのは伊勢良行さん。「空手を続けることで礼儀正しくなったし挨拶が明瞭になったと自分で感じます。息子との空手談義も楽しい。会話に入りたくて妻も始めるかもしれない」。帯を絞めるたびに大人にも大事なことを教えてくれる、それが空手道だ。

武道が好きだ！空手道編

千葉県空手道小史 1964年～2017年

千葉県で空手道が行われ始めたのは第一次大戦後のことと言われる。船橋市、東金市、茂原市、銚子市などに昭和20年代創立の歴史ある道場がある。千葉県空手道連盟は昭和45年に設立されたが、実は千葉県高

等学校空手道連盟はその前年に結成されている。高体連空手専門部の活動開始は全国で2番目の早さで、高校空手の先進県として、関東や全国の高校空手の組織化などをリードしたという。千葉の高校空手の強さ



日本一、世界一になった植草歩。母校の日体大柏高校で後輩を指導する



の端緒はここにあるのかもしれない。国体の初優勝は、平成3年の第46回石川大会での成年男子団体組手だ。成年男子組手中量級で藤田幸雄も優勝した。数年のうちに、この時の選手である渡辺純一がワールドゲームズ、国分利人が全日本選手権を制した。平成22年の第65回千葉国体に向けては、「なんとしても天皇杯と皇后杯を」と5年前から中学生の競技力向上などに取り組んだという。空手道は浦安市運動公園総合体育館で熱戦が繰り広げられ、千葉県選手団は初の男女総合優勝、女子総合優勝を取めた。

- 千葉県空手道史・団体優勝など**
- 1964年 全日本空手道連盟発足
 - 1970年 千葉県空手道連盟発足
 - 1974年 全国高校総体の男子団体組手で柏日体が優勝
 - 1991年 第46回国体の成年男子組手個人中量級(藤田幸雄)、成年男子組手で優勝
 - 1993年 ワールドゲームズ空手道競技男子70kg級で渡辺純一が優勝
 - 1994年 全日本空手道選手権大会の成年男子組手で国分利人が優勝(2年後も優勝)
 - 1997年 第5回全国中学生空手道選手権の女子団体組手で佐原市立第五中が優勝(翌年連覇)
 - 2004年 全国高校選抜の男子団体形で拓大紅陵が初優勝(翌年連覇)
 - 2006年 第61回国体の少年女子組手個人形個人で柴山恵理香(渋谷教育学園幕張)が2種目優勝
 - 2010年 第65回千葉国体で千葉県は初の男女総合優勝、女子総合優勝(個人優勝・成年男子組手・軽量級・伊藤大地、男子組手重量級・青柳隼康、女子組手・柴山恵理香、少年男子組手・金澤亜門、男子形・蛭田将暉(翌年連覇)、女子組手・植草歩)
 - 2014年 全日本空手道選手権女子組手団体で千葉県が初優勝(2016年も優勝)
 - 2015年 全国高校選抜の男子団体形で拓大紅陵が優勝
 - 全日本空手道選手権で植草歩が初優勝(翌年連覇)
 - 2016年 世界空手道選手権女子組手+68kg級で植草歩が優勝
 - 2017年 全国高校選抜の男子団体形で拓大紅陵が優勝

空手を始めてみよう！

空手は道具なしでもすぐに始められる。たいていの道場は「運動できる服装でお気軽に」と言ってくれるはず。目指せ、黒帯！



千葉県空手道連盟事務局

氏名	TEL	携帯	
事務局長 西立野 洋介	047-485-6143	080-5084-5761	
千葉県空手道連盟支部市町村事務局 (代表)			
支部・市町村	氏名	TEL	携帯
京葉支部	鎌形 勇	047-373-4028	090-1436-0544
東葛支部	河原 進	0471-53-6539	090-5499-7143
北総支部	五十嵐 裕一	0476-23-2610	090-3503-2624
安房支部	池田 勝	0470-55-1380	090-1422-1994
東総支部	石原 克一	0479-73-6655	090-8945-9943
千葉市	渡辺 誠	043-276-3883	090-2658-6403
かずさ支部	吉村 圭司	0438-23-9540	090-8303-0720
東金市	嶋 輝幸	0475-52-5437	080-3399-1895
銚子市	石橋 正敏	0479-22-4715	090-3402-0302
茂原市	東條 元樹		090-3535-3297
勝浦市	黒川 民雄	0470-76-2828	090-3342-2038
大多喜町	市原 浩	0470-83-0141	
御宿町	石井 光弘	0470-68-5904	
長南町	林 正廣	0475-46-1419	
岬町	阿部 繁一	0470-87-4191	
大原町	小高 義弘	0470-87-3173	
市原市	安田 邦之		090-4243-4800
白井市	笠原 園子	047-447-7073	090-5813-5185
木更津市	本村 雅寛	0439-52-6716	080-5440-3371
山武郡市	石橋 義夫	0475-84-1429	090-4925-7822
君津市	加藤 正彦	0439-52-8242	090-3590-1390



エールスポーツ千葉

2017.10.11 月 Vol.15

Area Sports Magazine

yell sports

yell-sports.com/chiba/

エリアスポーツ応援マガジン

千葉

定価 750円



中高総体 全国大会 優勝者登場

サッカー / 陸上競技 / 体操
野球 / 相撲 / 柔道

巻頭特別インタビュー

原修太(千葉ジェッツふなばし)
澤野大地(棒高跳び)

世界を感じて

女子柔道 / デフリンピックサッカー

武道が好きだ! —空手道—

明日を拓け!

切石結女(ソフトボール)
片見公亮(パラ卓球)

中学野球訪問

飯岡中 / 匠瑳リトルシニア

部活飯

流山高校ボクシング部

ガッツ! 夏の陣!